



「ソンミ村虐殺慰霊碑前での40周年追悼式典」

藤本博教授退職記念講演会

『戦争と平和を考える

～ソンミ村虐殺から50年を迎えて～』

日時：2018年3月10日(土)

14：00～17：15

場所：D棟 DB1教室

主催：南山大学外国語学部英米学科藤本ゼミナール

共催：南山大学外国語学部英米学科

お問い合わせ先：南山大学藤本ゼミ代表：松井文香

Email：fujiseminar2014@gmail.com

スケジュール

第一部

14:00～16:05

<基調講演>

・石川文洋さん

「戦争と平和」

・マイク・バウムさん

「ベトナム帰還兵として」

・藤本教授の講話

「ベトナム戦争が
問いかけること」

第二部

16:10～17:15

・ALL 藤本ゼミ生による
報告

「戦争と平和について
考えてきたこと」

一緒に戦争と平和について考えてみませんか？

1968年3月16日、ソンミ村にて多くのベトナム住民の命が奪われました。

あれから50年がたった今、私たちはソンミ村虐殺から何を学ぶことが出来るのでしょうか。報道写真家の

石川文洋さんとベトナム帰還兵のマイク・ベイムさんをお招きして戦争と平和について考えます。

石川文洋さん

報道写真家 1965年1月～1968年12月にフリーカメラマンとして南ベトナムに滞在し、ベトナム共和国軍、アメリカ軍に従軍し戦場取材行った。

著書：『戦場カメラマン』（朝日文庫）、『写真記録ベトナム戦争』、

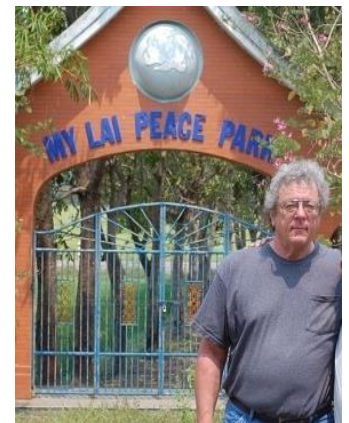
『ベトナム 戦争と平和』（岩波新書）、『旅する心のつくりかた—楽しきかな、わが冒険人生』（サンポスト）、ほか多数。



マイク・ベイムさん

ベトナム戦争の帰還兵であり、ベトナム戦争での体験をもとに、1994年より現在に至るまで20年以上にわたって、ソンミ村虐殺の地で地元のベトナム民衆との「平和・共生」活動を行ってきている、また、全米各地で平和と戦争についての講演会を行っている。

著書：“Boehm” in David Giffey ed., *Long Shadows: Veterans' Paths to Peace*, Madison, WI: Atwood Publishing, 2006.



藤本博教授（南山大学外国語英米学科）

専攻は、現代アメリカ外交史、国際関係史、主としてベトナム戦争史を研究。

主要著訳書：『ヴェトナム戦争 ソンミ村虐殺の悲劇』（共監訳、明石書店）、『ヴェトナム戦争研究—「アメリカの戦争」の実相と戦争の克服』（単著、法律文化社）、『20世紀の戦争とは何であったか』（共著、大月書店）、『ヴェトナム戦争全史』（共訳、社会思想社）。



< 南山大学までのアクセス >

会場：南山大学 DB1教室（正門から入っていただき、キャンパス内の奥の方の建物です）

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分

